

## 委員から提出のあった資料数例の具体的とりまとめについて

委員から提出のあった資料のうち3つの単元（アイデア）を対象として、具体的なとりまとめ案を検討する。なお、学校に配布する資料のうち、今回のワークショップでは、「児童用資料 基本資料」のとりまとめ方法について検討する。

### 《ワークショップで対象とする単元（アイデア）》

#### ①湿原に生息する魚類の産卵から孵化までを紹介する資料

- ・資料の活用を期待する教科単元→理科5年生、メダカの誕生（教科書 29p～）
- ・前回ワーキングで出された具体的アイデア→シャケやイトウの成長の写真
- ・提出のあった資料→「シャケの稚魚飼育記録」、「秋サケブック」

#### ②地域ごとの地層がわかる資料とその出来方がわかる資料

- ・資料の活用を期待する教科単元→理科6年生、土地のつくりと変化（教科書 81p～）
- ・前回ワーキングで出された具体的アイデア→温根内、昆布盛、桂恋などの写真
- ・提出のあった資料→「釧路湿原周辺の地形・地質について」、「岩保木、温根内等の写真」

#### ③湿原域で見られる動植物の食物連鎖、生態系がわかりやすく理解できる資料

- ・資料の活用を期待する教科単元→理科6年生、生き物と環境（教科書 159p～）
- ・前回ワーキングで出された具体的アイデア
  - 湿原内で見られる動物を出してもらって、食べる、食べられるの関係を考えてもらう
  - 食べているイラストがあれば良い
  - 例えばタンチョウを頂点とした食物連鎖
- ・提出のあった資料→「湿原域でみられる動植物の食物連鎖」、「資料の活用案」

### 《ワークショップの流れ》

#### 1) グループに分かれてワークショップ実施（40分程度）

- ・単元（アイデア）ごとに3つのグループに分かれてアイデア出し
- ・提出のあった資料の活用箇所、追加で盛り込む情報等について付箋に記入し模造紙に貼り付け
- ・上記で出た内容より、「児童用資料 基本資料」の具体的な案をとりまとめ

#### 2) 各グループから出された具体的とりまとめ案の共有（10分程度）

- ・終了時のそれぞれの担当グループから代表1名により説明